

発行日：令和2年12月10日 発行者：医療法人社団英世会 介護老人保健施設 北郷 PPR委員会
〒191-0024 東京都日野市万願寺1-18-1 TEL042-589-3270 FAX042-589-3271

文化祭

コロナ禍によりご家族に見ていただけない、展示場所の縮小など問題はありましたが、無事に文化祭を開催することができました。11月4日～11月30日までご入所の方が作られた作品を1階ホールと風除室に展示しました。ご利用者は職員と一緒に少人数ずつ降りて来られ、談笑しながら作品をご覧になりました。その後おやつにパンケーキとコーヒーを召しあがられ、とても美味しいと大好評でした。



2A 丸めた新聞紙を色画用紙とビニールで包み顔を描くと、いろんな顔をした季節の食べ物ができあがりました。



3B ちぎり絵で秋の風景を描きました



3A トレックのコースをマスクケースに見立て、マスクと芯を思い思いにデコレーションしました。

運転手の齋藤さんは丹精込めて菊の花を育てています。毎年文化祭でお披露目されるのを、みんな楽しみにしています。



2B 感謝の花束。「ありがとう」は指で塗りました。カレンダーは手縫いで作りました。月毎に付け替えができます。



書道クラブと華道クラブ

デイ文化祭

11月12、17、20日に文化祭を行いました。制作した作品を廊下に展示しました。その他にも「昭和歌謡祭」を開催しました。昭和の名曲を職員による仮装ダンスで振り返り、拍手喝采♪♪♪や職員のダンス姿を見て笑顔満ち、笑いあふれる文化祭となりました。



フロア床清掃

入所されているご利用者にもご協力いただき、業者による床のワックス清掃を行いました。作業は日中、夜間と行いました。日中は9:00-16:00の間、ご利用者は居室に入ることができず、夜間は21:00-4:00の間作業を行い、広範囲ではありませんでしたが、作業音で眠りづらかったかもしれません。大きなトラブルもなくワックス清掃は終了しました。ありがとうございました。居室に入れない時は4階でいつもと違う雰囲気でご過ごしていただけたこととありました。きれいになった施設で気持ちよく過ごしていただければと思います。



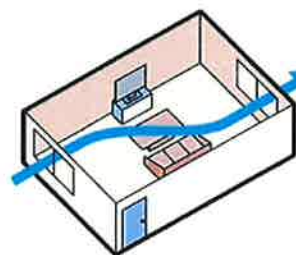
換気対策

二酸化炭素測定器を導入しています。人の多い所に設置しています。二酸化炭素の濃度によって、換気の良し悪しを判定することができます。濃度が高いとアラームで知らせしてくれます。機械を利用しながら換気対策を行っています。



冬場の効果的な換気の方法

- 換気扇を回す、換気口を開けるなど機械設備を活用
- 暖房で室内を暖めた後、暖房を入れたまま窓を開ける
- 開ける窓は対角線上にある2カ所
- 寒い場合は、30分に1回3、4分程度を目安に



ダイキン工業のホームページより抜粋

事務室より

今年はコロナ禍において面会や電話、衣類交換など、様々に変更やお願いがあり、みなさまにご協力いただきました。至らぬ点もあったと思います。事務員一同、心より御礼とお詫び申し上げます。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

テレビ電話・PHS電話

お取次ぎ時間は下記の通りです。

10:00-11:00 13:30-16:30

年末年始、窓口は通常どおり営業しております。

不明衣類

不明衣類にお名前がないため持ち主不明になっている衣類を玄関に展示しています。衣類には名前の記入をよろしくお願いいたします。展示期間は12月30日までです。



新入職員紹介



伊藤 弘之
入職日11月24日
職種 通所スタッフ



2月まで印刷関連の仕事をしていて定年退職しました。ジャンルを問わず音楽、映画、絵画、演劇などの鑑賞やオーディオ、ビデオの収集、車やオートバイは乗るのもいじるのも好きです。よろしくお願いいたします。



居村 希禄
入職日11月1日
職種 通所介護



令和2年11月より通所リハビリで働き始めました居村と申します。まだ研修中で右も左もわからない状態ですが、今まで務めた介護施設や自宅でしていた祖母の介護の経験を活かし、頑張っていきたいと思っています。宜しくお願いします。

事務長就任のご挨拶



介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助し、また、家族や地域の人々、機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援していくという理念のもと、包括的ケア・サービス施設として、利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援し、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供する役割を担っています。昨年4月より事務長代行を務めさせていただく中で、チームで支援するためには多職種が輪になって取り組むことが大切で、各職種の専門性はもちろんですが、より良い人間関係を築くことが働きやすい環境の基礎となり、それが利用者へのサービス向上につながっていくことなのだと感じました。「私たちはその人らしさを大切に心の通う人間関係を築けるように努力します」と英世会3老健の約束にあります。これは職員同士の人間関係を築くうえでも同じであり、これからの私の課題は施設全体の業務を把握し状況を理解しながら積極的な関わりをもてるよう勉強していく事だと思っています。分からないことはどんどん質問していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。新しい日常の中でストレスを感じることもあるかと思いますが、その中でもコミュニケーションや業務改善を通じてやりがいのある職場にしていけるよう取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

2020年を振り返って

今年はどんな1年でしたか？

サビア職員が感じたことをご紹介します。

サビアに入所してから早いもので5年が経ちました。こうしてお仕事ができるのは支えてくれている家族、サビアの皆様のおかげであるという感謝の気持ちを忘れてはならないと思いながら、日々過ごしています。今年はコロナウイルス感染症のこともあり、今まで以上に体調管理について考えさせられる1年となったことは間違いありません。嫌だなあ、辛いなあと思った時に「あ、元気だから今ここにこうしていられるんだ。嫌だなあと感じることのできる今に感謝して前を向いていこう」と思えるようになりました。今も、これからも頑張っていきますのでよろしくお願い致します。(相談員)

今年は、コロナの影響を受け、ご家族の面会方法や職員の出勤前後の検温義務など変更の年でした。しかし、ご利用者との関わりや知恵・工夫による行事開催など例年と変わりのない年でもありました。そんな中、私はご利用者から色々なお話を聴く機会が増えました。また、行事担当者より声をかけていただき、行事への参加も増え、良い経験をさせていただきました。今年は例年よりも皆様への感謝が多かった年でした。ありがとうございました。(ケア)



サビアに入職し社会人として過ごして早くも2年が経ちました。学生の頃はなかった忙しさに、最近では時の流れをとて早く感じます。特に今年は新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛などで思うように遊ぶことも出来ず、あっという間に1年が過ぎてしまいました。何かと気分の沈むニュースの多い1年でしたが、その分来年はいい1年になるように願っています。(入所介護士)



今年の4月に通所の介護職員として入職してから8か月ほど経ちました。新型コロナウイルスが猛威を振るう中、働き始める事への不安と子育てと両立できるかどうか自身の課題でありました。当初は、仕事がある生活に慣れること、仕事(業務)を覚えることで精一杯でした。今思い返すと、臆せず働いていたことで、少しずつご利用者と打ち解けることに繋がり、ご利用者との心の距離が縮まったのではないかと感じております。また私自身が働き続けていけるのは、ご利用者の笑顔と職場の方のご理解、ご配慮があるからだと思えます。当たり前に働けていることに感謝し、ご利用者が安心して笑顔で過ごせる様に日々、感染対策を怠らずに行い、元気で笑顔で接することが出来るように、気持ちに余裕をもって働いていきたいと思えます。(通所介護士)

今年の4月に通所の介護職員として入職してから8か月ほど経ちました。新型コロナウイルスが猛威を振るう中、働き始める事への不安と子育てと両立できるかどうか自身の課題でありました。当初は、仕事がある生活に慣れること、仕事(業務)を覚えることで精一杯でした。今思い返すと、臆せず働いていたことで、少しずつご利用者と打ち解けることに繋がり、ご利用者との心の距離が縮まったのではないかと感じております。また私自身が働き続けていけるのは、ご利用者の笑顔と職場の方のご理解、ご配慮があるからだと思えます。当たり前に働けていることに感謝し、ご利用者が安心して笑顔で過ごせる様に日々、感染対策を怠らずに行い、元気で笑顔で接することが出来るように、気持ちに余裕をもって働いていきたいと思えます。(通所介護士)

英世会ホームページ

英世会のホームページがリニューアルしました。サビアのホームページはこちらのQRコードからどうぞ。スタッフの更新中！ぜひご覧ください。

UP!



ルアナ

ルアナの意味は「みんなでリラックスして楽しめる幸せの場所」
サビア職員が様々な企画を考えて活動しています。



旅行のワクワクを読んで旅行気分

11月28日(土)に今年初めてのルアナカフェをOPENしました。コーヒー&ケーキを召し上がって頂き、希望者にはアロマオイルを使用したハートマッサージを行い、のんびりとした時間を過ごして頂きました。次回は12月19日を予定しております。ご来店お待ちしております！



新型コロナウイルスにより、経験したことのない特別な1年でした。多くの行事が縮小して行われ、毎年好評の流しそめんも今年はそめんを流さずお椀へ入れての提供になりました。縮小された分、行事を行った日のおやつはいつもより少し豪華なものを提供し、喜んでいただけました。来年もどうなるかわかりませんが、沢山笑って沢山の笑顔が見られる1年にしたいです。(栄養課)



「我慢の年」コロナを職場に持ち込まないか、職場でコロナが出ないか、常に緊張していました。旅行、友達と会う、ライブ、舞台…今までしてきた気分転換ができなくなり辛かったです。でも、毎年流行するインフルエンザや気管支炎のご利用者が、今年には出ていません。様々な感染対策をしている結果だと思います。この先、コロナが終息しても、感染予防対策をしっかり行うことは続けたいです。病院などの医療現場で仕事をされている方々を思うと、心が痛みます。頭が上がりません。一日も早くこの緊迫した日常が穏やかな日常になるまで、みんなで頑張りましょう。(看護師)

ひょんなことから電気自転車を手に入れた私は多摩川を堪能する日々となりました。立飛橋から見える富士山、丹沢や奥多摩の山々。毎朝同じ時間に洗濯物を干すおばあちゃん、野球場を整備する審判団、マスクの中に入り込んでくる虫、葛の花の濃厚な甘い香り。ああ何というしあわせ。今はスキが河原一面を覆い、暗くなった帰り道では上限の月と木星が直線に並んでいます。そんな今ある当たり前の日常が幸せだと思う2020年でした。(リハビリ)



今年は最初から最後までコロナ感染症に染まってしまった1年になりました。その中でも私が特に印象に残ったのは花火です。花火師さん達の計らいで、密にならないように日時も場所も非公開で、花火が上がりましたね。しかも全国津々浦々で！日本人の心意気と底力を見て、よしやってやろうじゃないか！と勇気の湧いた出来事でした。まだまだ正念場は続きますが、来年こそは皆で大きな花火が見られますように。(リハビリ)

隔離設備やバレーションを作ったり大変でした。けれど、サビアの日常生活や行事が安全に円滑に行われるようにするのが、私の仕事です。いつだってご利用者、職員みんなの役に立ち、喜んでもらいたい、と思っています。今年はいつも以上に強くそう思いました。(施設課)

みなさんに見ていただこうと、高さ2mの極楽鳥花を玄関に飾りました

